

自分の書体をフォント化してみよう！

【講師】 小林 章 (こばやし あきら)

【会場】 大阪デザイナー専門学校

〒530-0003 大阪市北区堂島2-3-20

<http://www.odc.ac.jp/access/index.html>

JR大阪駅桜橋口から約10分 阪神梅田駅から約10分
地下鉄梅田駅から約15分 地下鉄東梅田駅から約15分
JR北新地駅から約5分 京阪渡辺橋駅から約8分

【開催日時】 2011年11月6日(日)

9:30~15:30 (休憩含む)

【受講料】 無料

【参加実費】 5,500円

【定員】 10名

【参加条件】 ・カリグラファー対象。

カリグラファーがフォントになる課程を楽しんでもらうワークショップです。プロのデザイナーさんにご遠慮ください。

・フォント制作が初めてという方優先です。

・WindowsかMacのコンピューターを使ったことのある方。

【申込方法】 電子メールのみの申込受けとし、下記事項を記入した上、申込先アドレスに送信ください。

書類を送付いたしますのでパソコンからお申し込み下さい。

1) 件名「小林章氏WS」

2) 氏名、住所、電話番号

【申込締切日】 10月7日(金)

但し、定員に空きがある場合には、その後のお申込みも受け付けます。空きの有無はJ-LAFウェブサイトでお知らせ致します。

<http://j-laf.org/>

【申込先】 workshop@j-laf.org

(WSに関する質問もこのアドレスまで)

【クラス内容】

「カリグラフィーペンなどで書いた自分の文字をデジタルフォントにしてみませんか。ドイツの書体メーカー、ライノタイプ社でディレクターを務める小林章が必要なコツをお教えします。最終的には、自分のつくったA-Zをフォント化してお持ち帰りいただき、ご自分のコンピューター（WindowsでもMacでも）にインストールして使えるようになります。」

<当日までにご準備いただくこと>

ご自分で書かれたA-Z, a-z, 0-9, 記号類などをスキャンしてデータ化していただきます。当日はスキャンデータをお持ちいただきます。

詳細はお申し込み後にお送りします。

昨年のワークショップの様子はコチラからご覧いただけます。

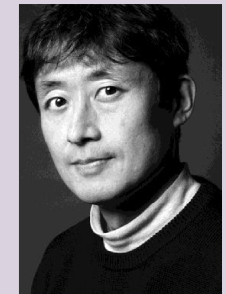
<http://j-laf.org/2011/03/post-91.html>

【講師プロフィール】

2001年春より、ライノタイプ社のタイプ・ディレクターとしてドイツに在住。ライノタイプ社での主な職務は、書体デザインの制作指揮と品質検査、新書体の企画立案、書体コンテストなどの際の書体の選定、コーポレート書体の提案と制作、など。

有名な書体デザイナーであるヘルマン・ツァップ氏やアドリアン・フルティガー氏と共同で、両氏の過去の書体の改刻も行っている。1998年に本文用ローマン体「Clifford」が米国のコンペティションで本文部門1位・最優秀賞を同時に受賞。

2000年にライノタイプ社の書体コンペティションで書体「Conrad」が本文部門1位を受賞。2005年に、著作『欧文書体：その背景と使い方』が、2008年に『欧文書体2：定番書体と演出法』が、2011年に『フォントのふしぎ』が美術出版社より出版された。海外と日本で欧文フォントについての講演やフォントデザインのワークショップを開いている。



主催 J-LAF (ジャパン・レター・アーツ・フォーラム)
関西担当：飯本